



自分の大切さと共に他の人の大切さを認め合える学校・学級づくり

6月16日(木)、人権特設授業を全学年で実施しました。学年、学期によって、テーマは異なりますが、仲間づくりやいじめ問題など身近な問題からはじめ、社会の様々な人権問題について、学級のみんなで学習を深めていきます。



2年生教材 「評価基準」「ウワサ」「無関係」「思い込み」「男女平等」…様々な人権問題について考えました。

これらの授業での学びが、単なる知識的な理解で終わることなく、これからの実践行動につながるように、自分の大切さと共に、他の人の大切さを認めあえる学校・学級づくりに取り組んでいきます。

1年生は、「事実を言ってなにが悪い！」という話を教材に、相手の立場に立って物事を考え、発言し、行動することの大切さについて学習しました。

2年生は、「えっ、これも人権？」というビデオ教材を鑑賞し、日常の出来事の中にありがちな風景から人権の大切さについて考えました。

3年生は、全国水平社を創立し、仲間と力を合わせ、人間を尊敬し、差別をなくそうとする運動に取り組んだ西光万吉さんの生き方について学びました。



熊本地震への募金活動にご協力ありがとうございました！

5月26日(水)から6月2日(木)の間に実施した熊本地震への募金活動には、多くの皆様からのご協力をいただきました。お陰様で、26,800円の募金が集まりました。

6月17日(金)、保健体育委員会の代表が日本赤十字社県支部に募金を届けました。

今回の募金は、「義援金」として、被災県に設置される義援金配分委員会に全額送金され、同委員会で定める配分基準に従って被災者の皆さんに届けられます。

保健体育委員長は「少しでも募金が被災された皆さんの役に立てばうれしいです。貴重な経験となりました。」と話していました。保健体育委員会の皆さん、ご苦労様でした。



保健体育委員会で作ったお礼の言葉を、玄関前に掲示しました

教育実習生の皆さん、またいつかお会いしましょう。

6月6日(月)から24日(金)の3週間、3人の皆さんが伏虎中学校で教育実習を行いました。

短い期間でしたが、生徒たちは身近な先輩として、学習指導の場だけではなく、休み時間やお昼休みに、親しく色々なお話をすることができたようです。

期間中は、玄関での朝のあいさつ運動に参加してくれました。通行される皆さんから、「若い人は元気だね」と声をかけていただきました。



実習生の皆さんは「3週間は早かったです。伏虎中学校の生徒は、授業と休み時間のけじめをつけて行動できるところがとてもいいと思います。授業にも一生懸命取り組んでくれました。この経験を生かし教員を目指して頑張ります。」と話していました。いつか、伏虎中学校に本当の先生として勤める日が来るかもしれません。しっかり頑張ってください。応援しています。